

# 日本獣医師会学会学術誌投稿の手引き

(平成28年4月1日 日本獣医師会)

## 1 目 的

本手引きは、日本獣医師会学会学術誌投稿規程（以下「投稿規程」）に則り投稿原稿の審査や編集が円滑に行われることを目的に、投稿規程に記載のない、一般的な事項、編集において必要な事項、著者が見落としやすい事項等を示したものである。

## 2 投稿資格及び条件関連

- (1) 筆頭著者は、日本獣医師会構成獣医師若しくは賛助会員(個人に限る)でなければならない。それ以外の者が筆頭著者の場合は、投稿料を徴収する(投稿時審査料10,000円、採用時掲載料50,000円を納入する)。ただし、編集委員会が認めた者については、この限りでない。
- (2) 発表者は、原則として8名以内とし、研究材料提供等については、謝辞で記載する。
- (3) 投稿原稿は、獣医学が扱う臨床、動物衛生、食品衛生、環境衛生、人と動物の関係、獣医学教育、動物用医薬品・機器等を内容とする。獣医学術の振興・普及及び調査研究の推進に関する学術論文等を範囲とし、委員会において、掲載に相応しい学術分野を指定する。
- (4) 他の学会誌等に投稿中、若しくは発表した論文等は受け付けない。なお、口頭による発表はこの限りでない。

## 3 投稿要領関連

### (1) 電子投稿の場合

ア 投稿は、本会投稿用ホームページの電子投稿システムで行う。

イ 原稿は、本会投稿WEBサイト上の投稿マニュアルに従い、必要事項を記入した後、本文(表紙から引用文献までを1つのファイルに集約し、ファイル名を「氏名一本文.拡張子名」とし、Word/doc, docx形式で保存する)、図(すべての図を番号順に1つのファイルに集約し、ファイル名を「氏名一図.拡張子名」とし、白黒1200dpi以上、グレースケール及びカラーは300dpi以上でPDFあるいは、PowerPoint/ppt, pptx形式、Word/doc, docx形式、Excel/xls, xls形式、Photoshop (Jpeg, Tiff)/jpg, tiff形式で保存

【別表】掲載区分と投稿原稿の制限枚数及び刷り上り頁枚数

掲載区分	投稿原稿制限枚数 A4判ワープロ等 (25字×24行)	刷り上り頁数
総説	24枚	6頁以内
原著	20枚	5頁以内
短報	16枚	4頁以内
技術講座	16枚	4頁以内
資料	8枚	2頁以内

する)、表(すべての表を番号順に1つのファイルに集約して、ファイル名を「氏名一表.拡張子名」とし、Word/doc, docx形式、Excel/xls, xls形式(映像化は不可)で保存する)を同サイト(<https://mc.manuscriptcentral.com/jvma>)にアップロードする(ファイル合計60MB以内)。

### (2) 郵送投稿の場合

ア 投稿は、所要事項を記載し、著者全員の署名した投稿票を必ず添付する。

イ 投稿原稿は、4部を提出する。

### (3) 原稿の体裁

原稿の文字色は、黒とし、A4判用紙を使用し、1頁(片面)を25字×24行の横書きで、明朝体(英文はCentury)を用い欄外下部中央にページ及び左欄外に行番号を付す。

なお、修正原稿については、修正箇所は青色の文字で記載する。

### (4) 原稿の枚数等

ア 原稿の枚数は、表題、和文要約、英文要約(SUMMARY)、本文、図(写真を含む)・表等すべてを含めた枚数で、投稿区分の規定枚数は、別表のとおりとする。

イ 特に図、表は、本文との兼ね合い(枚数、印刷時の大きさ)を十分考慮し、規定枚数内に納める。

### (5) その他

以上の事項を逸脱した原稿については、審査以前に再提出を依頼する。

## 4 執筆要領関連(原著及び短報)

### (1) 用語:

ア 動植物名は、原則として漢字を使用する。ただし、一般的に使用されているものに限り(例:人、犬、猫、牛、豚、鶏、馬、羊等)、それ以外のものはカタカナで表示する。

イ 薬品名は、原則として一般名若しくは局方名を使用し、カタカナで記載する。また、機器名は原則として一般に使用される名称を和文で表示する。

ウ 本文中に一般名等で記載した薬品、機器等の商品(製品)名及び社名等は、一般名称の直後に括弧内で記載することができる(商品(製品)名、社名、都道府県名の順/例:ニチジュウワクチン、日獣製薬(株)、東京)。

### (2) 表紙(第1頁):

ア 最上段左側に部門名、希望投稿区分及び「新規」(新規投稿原稿の場合)あるいは「継続」(継続審査原稿の場合)の表示を赤字で明記する。

イ 次いで、表題、著者名、所属機関名(大学は学部名、都道府県勤務は支所名(本所は部名)、までとし、「○○

動物病院」⇒「〇〇県 開業」(県名は所属獣医師会または所在地名),「株式会社」⇒「(株)」,「公益(一般)社団法人」⇒「(公(一)社)」,「公益(一般)財団法人」⇒「(公(一)財)」,「独立行政法人」⇒「(独)」,「国立研究開発法人」⇒「(国研)」,「特殊法人」⇒「(特)」等とする。)及び所在地住所(郵便番号を含む。併せて、実際の動物病院名も記す。)を和文で記載する。

ウ 表題は原則として副題,括弧,略号,「～について」,「～に関して」等は付けない。

エ 最下段には連絡責任者の所属(大学は教室名,都道府県勤務は係名まで,動物病院等は,実際の名称を記載),住所,電話番号(ファックス番号),メールアドレスを記入し,別刷を希望する場合には必要部数を赤字で明記する。

オ 表題が28字を超える場合には,28字以内の柱(ランニングヘッド)を記入する。

### (3) 和文要約(第2頁):

字数は360字以内とし,要約の最下段には,原著では5語以内,短報では3語以内の日本語のキーワードを英文のKey wordsに対応する順で記載する。

### (4) 英文SUMMARY(第3頁):

ア 英文の表題,著者名,著者の所属機関名,所在地住所(郵便番号を含む),SUMMARY及びKey wordsを記載する。

イ SUMMARYは,250語以内とし,行間を広く空けて記載する。

ウ SUMMARYはなるべく和文要約に対応した記載にする。

エ Key wordsは,SUMMARYの最下段にABC順で記載する。

### (5) 本文(第4頁以降):

ア 原則として,①緒言(見出しは付けない),②材料及び方法,③成績,④考察,⑤引用文献の項目に区分して記述し,数字を用いて項目分けしない。(ただし,短報では必ずしも,この区分で記述する必要はない)。

イ 実験動物等の取り扱いについては,所属研究機関の動物実験ガイドライン(指針)に沿って動物に苦痛を与えないように実験を行った(または動物実験委員会の許可を得て実験を行った)旨を明記した上で,動物の苦痛を和らげる方法について具体的に記述し,当該動物を使用して実験を行う必要性と意義を説明し,併せて動物の入手方法と飼育状況を具体的に記載する。

ウ 図(写真)・表

(ア) 図(イラストレーションを含む)は,原則として黒一色とし,A4版の白紙を用いて,表題を付け,原図から直接製版できるものとする。

(イ) 表は,縦罫線を入れない。

(ウ) 写真は,白黒でコントラストの明瞭なもの(カラー

の際はモノクロ印刷でも明瞭なもの)とし,表題と簡単な説明を付け,原寸印刷が可能のように必要部分を横7.8cm,縦6.0cmまたは横15.5cm,縦10.0cmとする(郵送の場合は,同サイズに整形して台紙にコーナーのみを糊付けする)。

(エ) 写真には図と同様に一連の番号を付ける(郵送の場合は,初回投稿時には4部すべての原稿にオリジナルを添付するが,修正原稿提出時には変更がない限りコピーでも可とする。また,デジタル画像を用いる際は,明瞭な印刷ができるよう光沢紙等の専用紙を用いる)。

(オ) 図及び表は,挿入位置を本文の右欄外に赤字で明記し,電子投稿の場合は,1つのファイルにまとめ,郵送の場合は,1点をそれぞれ1枚の台紙に貼付(デジタル画像も1枚ごとに印刷)し,写真とともに原稿の最後にまとめて添付する。

### エ 引用文献

(ア) 研究に密接に関係のあるものを引用する。引用できる文献は,学会誌,専門的学術誌あるいは専門書とし,学会抄録,講演会テキスト,レフリー制度のない商業雑誌等は原則として引用できない。

(イ) 本文中では,著者名の直後等,引用箇所に[1,3-5]のように記載する。

(ウ) 文末に,本文中最初に引用された順に配列した引用文献リストをおく。①雑誌の場合は,著者名(全員列記),論文のタイトル名,誌名,巻,頁(1箇所のみ),年次(カッコ書き)とする。②電子ジャーナルの場合は,著者名(全員列記),論文のタイトル名,誌名,巻,頁(1箇所のみ),年次,媒体,入手先(URLをカッコ書き),入手日(「参照」として,年月日を記載)とする。③単行本の場合は,著者(著者が複数の場合は,引用した著者のみ),記事のタイトル名,書籍名,訳者名(1名のみ記載し,その他は和文では「他」,英文では「et al」とする),編者名,版,頁,発行者,発行地,年次(カッコ書き)とする。ただし,著者名がない際は,編者がいる際は編者名を,その他は,学会,研究会等の名称を記載する。

(エ) 和文誌名は原則として省略しない。ただし,慣例的に使用されているものはこの限りではない(例:日獣会誌,日獣誌など)。

(オ) 欧文誌名の省略は,Journal Title Abbreviationsによる。指定のないものは省略しない。

### 【雑誌の場合】

[1] 青山太郎,青山花子,赤坂次郎:子牛の開放性骨折の1例,日獣会誌,45,115-120(1992)

[2] 青山太郎,青山花子,江戸三郎,東京愛:犬のレプトスピラ症の抗原検出法,日獣誌,30,135-138(1992)

[3] Aoyama T, Aoyama H: The welfare of animals, Jpn J Vet Sci, 54, 120-124 (1989)

[4] Aoyama T, Aoyama H, Kanda J: A survey of heavy-

metal contamination in imported seafood, J Vet Med Sci, 54, 126-130 (1992)

- [5] Aoyama T, Aoyama H, Suzuki K, Tanaka S, Takahashi Y: Pathogenicity of the aino virus in japan, Am J Vet Res, 53, 155-160 (1992)

【電子ジャーナルの場合】

- [1] 永田四朗: 犬ブルセラ症の検出法, 家庭動物の感染学会誌, 25, 55-65 (2010), (オンライン), (<http://www.petzoonosis/article/25/1/1/pdf/s>), (参照 2013-04-20)
- [2] Williams A: Superinfection of bovine leukemia virus

genotypes in Africa, cattle doctor, 50, 215-220 (2012), (online), (<http://www.cattledoctor/lin/15/12/20/pdf/>), (accessed 2013-05-05)

【単行本の場合】

- [1] 神田一郎: マイコプラズマ, 獣医微生物学, 江戸三郎編, 第1版, 100-103, 青山堂出版, 東京 (1992)
- [2] Smith J: マイコトキシン中毒, 選択毒性, 赤坂次郎訳, 250, 学会出版センター, 東京 (1989)
- [3] Roitt IM: Immunophoresis, Immunology, Fred OG, et al eds, 2nd ed, 150-160, Grower Med Publ, London (1989)

複製される方へ: 本誌に掲載された著作物を複製したい方は, (社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でないかぎり, 著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 一般社団法人学術著作権協会  
☎03-3475-5618 FAX 03-3475-5619 E-mail: jaacc@mtd.biglobe.ne.jp  
著作物の転載・翻訳のような, 複製以外の許諾は, 直接本会へご連絡下さい。アメリカ合衆国における複製については, 次に連絡して下さい。  
Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA Phone 1-978-750-8400 FAX 1-978-646-8600

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright clearance by the copyright owner of this publication.

(Except in the USA)

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Phone 81-3-3475-5618 FAX 81-3-3475-5619 E-mail: jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

(In the USA)

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone 1-978-750-8400 FAX 1-978-646-8600

## 日本獣医師会雑誌

平成30年3月20日発行 (毎月1回20日発行)

第71巻第3号 [Vol. 71 No. 3 (2018)]

頒価 1,100円 (送料・消費税込み)

[本誌の購読料は会費に含めて徴収しています]

発行所 日本獣医師会

(〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階)  
電話 03-3475-1601 (代) FAX 03-3475-1604

URL: <http://nichiju.lin.gr.jp>

e-mail: [info@nichiju.lin.gr.jp](mailto:info@nichiju.lin.gr.jp)

編集発行者 境 政 人

印刷所 株式会社 加藤 文明社